

しるべ

手稲東中学校より

第2号 令和4年4月8日

札幌市立手稲東中学校

札幌市西区西野2条5丁目3番1号

電話 661-3363 FAX 661-3858

http://www.teinehigashi-j.sapporo-c.ed.jp/

皆さんの輝かしい未来へ向けて

校長 井上 博文

例年になく大雪の冬を経て、春の暖かな光の中で、草木が一斉に緑の芽を出しています。この西野の地にも、春の訪れを感じる季節が参りました。本日、このように第七十回入学式を挙行できますことを大変嬉しく思い、心より感謝申し上げます。

新たな希望を胸に、この手稲東中学校で未来に向かって歩みだす百七十五名の皆さん、ご入学おめでとうございます。今日から皆さんは、歴史ある手稲東中学校の一員です。皆さんの入学を、私をはじめ、全ての先輩、教職員、そして本校に関わってくださる方々が心待ちにしていました。

さて、今世界は、予測不可能と表現されるほど、目まぐるしく変化を続けています。新型コロナウイルスの流行や、ウクライナとロシアをはじめとする戦争など、数年前には誰が想像していたでしょうか。そして、世の中が不安定になればなるほど、弱い立場の人々が分断され、苦しい境遇に立たされてしまいます。

そのようなとき、きっと人の心の支えになるのは仲間です。

これから希望に満ちた中学校生活を送る皆さんに、強く願うことがあります。

私は、どのような人の心も弱く、揺らぎやすい一面があると思っています。だからこそ仲間が必要なのです。言葉を交わすことで、互いの弱さを理解しながら、ともに涙を流し、笑い、励まし合い、そして一緒に歩き出すことができる仲間です。

もしかすると、生きていだけなら、人は一人でもいてもよいのかもしれませんが、しかし、仲間と一緒になら、互いの弱さを受け止め、支え合い、人生をはるかに豊かなものにできるのだと思うのです。

新入生の皆さんは、その大切な仲間を、きっとこの中学校で見つけることでしょう。皆さんは、偶然同じ年に生まれ、この手稲東中学校の校区に住み、こうして出会いました。この偶然の出会いは、いつの日か強い絆となり、人生の礎となるはずです。

中学校での仲間との学びや経験が、「大人になるってまんざら悪くないよね」と、いつの日か社会の荒波を乗り越えながら、輝かしい未来へとつながってほしいと心から願っています。

結びとなりましたが、保護者の皆様、本日のお子さんのご入学、本当におめでとうございます。

ここまでお子さんが成長する間には、言葉に表せないご苦勞があったことと推察いたします。しかし、いつの日か、そのご苦勞は宝物となり、この目の前の百七十五名は、保護者の皆様のご苦勞や悩み、辛さを理解できるほどに成長することと思います。

中学校生活を、よき仲間にも恵まれ歩み続けるお子さんを、残念ながら本日お越しいただけなかったご来賓、地域の皆様とともに、私たち教職員は全力で支え、応援いたします。

(入学式「学校長式辞」より)

令和4年度 手稲東中学校教職員

学校長	井上 博文		教頭	岩 淵 浩 憲							
1-1	中井 朋子	理科	2-1	近藤 嶺	数学	3-1	竹中 公彦	理科			
1-2	鷹橋 直輝	保健体育	2-2	大高 貴子	家庭	3-2	安芸 雄輔	英語			
1-3	川村 鴻太	社会	2-3	奥田 ちこ	保健体育	3-3	坂本 絵里加	国語			
1-4	杉山 陽子	英語	2-4	新福 朱里	英語	3-4	渡辺 成	保健体育			
1-5	岩崎 晃久	数学	2-5	五井 満	社会	3-5	斎藤 佐保子	美術			
1-7	高橋 優毅		2-7	渡邊 弥生		3-7	川上 由貴				
1-1・5副	岡田 未来	音楽	2-7	小笠原 貴洋		3-7	多田 廉史				
1-2副	上田 浩嗣	国語	2-7	遠藤 薫		3-1副	工藤 真由	数学			
1-3・4副	石村 昭仁	技術	2-1副	津田 寿子	英語	3-3副	林 里奈	数学			
			2-2・3副	今 芳文	理科	3-2・5副	梅津 寛治	社会			
			2-4・5副	横山 拓史	国語	3副	児玉 純一	国語			
						時間講師	矢口 拓弥	国語			
養護教諭	山本 奈保子		用務員	西留 憲治		加藤文雄パートナー	中嶋 恵子				
事務職員	高橋 亜友		校務助手	岡田 綾子		学びのサポーター	山本 智子				
栄養士	佐藤 亜未		学校司書	大塚 千枝子		介助アシスタント	小川 まり子				
			スクールカウンセラー	三好 ちさと		介助アシスタント	田島 智美				